

実習日誌

※ 1日1通の記入をお願いします。

実習日	年	月	日 (日目)	実習先名	
実習者氏名				指導者	先生
お預かり人数		人	お子さんの 症状など		

本日の目標(※実習開始前に実習生が記入)

--

目標の実施・保育の反省・実習全体での気づきなど(※実習生が記入)

--

翌日の目標(※本日の実習を受けて、実習生が記入)

--

指導者よりコメント

--

開始時間	終了時間	休憩	合計時間	指導者サイン
:	:	:	:	

実習日誌

※ 1日1通の記入をお願いします。

実習日	25年 3月 25日 (1日目)	実習先名	ひまわり病児保育室
実習者氏名	サンプル花子	指導者	ひまわり太郎 先生
お預かり人数	3人	お子さんの症状など	風邪(咳)、回復期

本日の目標(※実習開始前に実習生が記入)

咳のケアを学び、実施する

目標の実施・保育の反省・実習全体での気づきなど(※実習生が記入)

初めての病児保育室での実習で、とても緊張しました。子ども達の症状は咳の激しい子、回復期で元気いっぱいの子などがいました。咳の出ている子どもには適宜水分補給の声掛けや背中をさすったり、午睡時には状態を高くするなどのケアをしており、とても勉強になりました。保育スタッフの方は、常に熱や咳、体調の変化に気を配りつつ、子ども達が1日楽しく過ごせるようサポートしていました。薬を飲ませる時も子どもの気持ちを持ち上げパパッと与えていたので、自分も真似したいと思います。今日の反省は、遊びの中でテンションをあげさせてしまい、興奮させてしまったので、そのようなことがないよう遊ぼうと思います。

翌日の目標(※本日の実習を受けて、実習生が記入)

病状に合わせた遊びを提供する

指導者よりコメント

実習初日お疲れ様でした。初めての病児保育ということで、年齢も症状も様々なお子さんの保育を経験されて、戸惑いもあったのではないかと思います。病児保育では、毎回違うお子さんを保育することになりますので、短時間のうちにお子さん一人一人の特徴を捉え、各々の状態に応じた関わりができるように心がけています。今日はお子さんとよく関わっていたと思います。ただ病児保育の場合には、体を休ませることも大切なので、遊びに熱中しすぎることがないように、時にはセーブさせるような声かけやかかわりが必要になることもあるということを知っておいてください。

開始時間	終了時間	休憩	合計時間	指導者サイン
8 : 30	17 : 30	1:00	8 : 00	ひまわり太郎

時間 生活の流れ	保育の観察			実習生の気づき 保育の配慮	
	病状 検温等	お子さんの様子	保育スタッフの活動		実習生の行動
8:30 入室 検温 自由遊び	(Aちゃん) 37.3℃ 咳少し	◎順次入室 ●荷物を置いた子どもから検温し、室内にて自由に遊び始める ●激しい咳込みがあってもレゴを上手につなげて遊ぶ。 ●おままごとセットを使い遊ぶ	●保護者からの病状の確認、与薬の有無を確認する ●子どもの検温をする。視診。 ●咳込みがある子どもには適宜水分補給の声掛けをする ●あそびを見守りながら体調に変化がないか気を配る	●子どもや保護者に明るく挨拶する ●遊んでいる子ども達に積極的に声をかけていく ●レゴを一緒につなげたり、背中をさすったりする	●咳込みのある子どもには水分補給を促したり、背中をさすってあげる
9:30 おやつ 自由遊び	尿(普通量)	◎おやつ ●排泄、オムツ交換、手洗いを ●イスに座り、いただきますをする ●おやつを食べる ●ごちそうさまをし、自由に遊び始める ◎自由遊び ●おままごとセットを使い引き続き楽しむ ●片づけをする	●オムツ交換をする ●イス、テーブル、おやつを用意する ●食べ終わった食器を片づける ●子どもの体調に気を配りながら遊びが发展するよう案を出す ●片づけをするよう促す	●排泄、手洗いを促す ●イスに座るよう声掛けする ●子どもと一緒にあそびを楽しむ ●片づけをする	●遊びで興奮した子どもを他の遊びに促して、落ち着かせていた
11:00 検温 昼食	37.1℃ 尿(少量)	◎検温・昼食 ●検温をし排泄、手洗いを ●イスに座りエプロンをつける ●いただきますをし食べ始める ●食べ終わった子どもからごちそうさまをし、絵本を見て静かに過ごす	●子どもの検温をし、終わった子どもから排泄(オムツ交換)手洗いを促す ●イス、テーブルの用意をする ●食欲の有無、体調の変化に気を配りながら見守る ●与薬ありの子どもに与薬する ●絵本を見るよう声掛けする ●イス、テーブルを片付ける	●排泄、手洗いを促す ●イスに座るよう声掛けする ●エプロンをつける補助をする ●うまく食べることでできない子どもの補助をする ●食べ終わった子どもに絵本を誦む	●まだ遊びたくて検温を嫌がる子におもちゃを一つ持たせてあげて検温をしたことで、子どものまだ遊びたい欲求を満たしてあげていた ●薬を嫌がる子どもの気持ちを持ち上げて、手早く与薬をしていた
12:00 午睡	尿なし 咳多い	●排泄、オムツ交換をする ●布団に入り入眠する	●排泄(オムツ交換)するよう促す ●布団を敷きカーテンをしめる ●眠りに入れるよう背中やおしりをトントンする ●入眠中の呼吸、咳をチェックする	●排泄を促す ●背中をトントンする	●咳が出る子どもには、上体を高くするようにするといい
15:00 起床 検温 おやつ	37.3℃	●起床した子どもから水分補給、清拭、着替え、検温をする ●排泄(オムツ交換)をする ●イスに座りいただきますをする ●おやつを食べる ●ごちそうさまをし、自由に遊び始める	●起床した子どもに水分補給を促す ●清拭、着替え、検温をする ●排泄(オムツ交換)をするよう促す ●おやつを用意する ●食べ終わった食器を片付ける	●清拭、着替えの補助をする ●布団を片付ける ●イス、テーブルを用意する ●イス、テーブルを片付ける	●昼食時に隣同士で遊んで、食事が進まなかったAちゃんとIくんの席が離れるように促す